

社団法人地盤工学会 平成 19 年度 第 3 回総務部会

議 事 録

日 時：平成 19 年 6 月 19 日 (火) 10:00 ~ 13:00	場 所：学会 3 階会長室	
出席者：後藤 聡 部 長	安田 進 副会長	天野 玲子 理 事
坪田 邦治 理 事	桑野 玲子 部 員	田地 陽一 部 員
本田 道識 部 員	松島 亘志 部 員 ×	事務局：戸塚 弘

(議事録担当者：本田部員)

(: 出席、× : 欠席)

議 題：

【報告事項】

1. 経理関係報告 〔別添資料- 1〕
 - * 一般会計の収支は-2967 万の支出超過であるが前年度比で若干改善。刊行事業特別会計は+317 万の収入超過で全体では-2652 万の支出超過であるが、前年度よりは収支バランスが若干改善しているとの報告があった。
2. 第 49 回通常総会(平成 19.5.24)関連報告
 - 1) 通常総会議事録 〔別紙 - 1〕p.1-6
 - * 6/29 までに文科省へ総会議事録を提出する必要があるが、議事録署名者の署名済みであることから、会長に再確認後、文科省に提出し、6/29 の運営連絡会議で事後報告する。
 - 2) 通常総会報告、定款の変更報告(「土と基礎」8月号)原稿 〔別紙 - 2〕p.7-21
 - * 校正の上、理事会へ報告する。
 - 3) 文部科学省への届出(事業計画及び収支予算・収支決算、定款変更) 〔別紙 - 3〕p.22-25
 - * 議事録同様、6月末までに文科省へ提出する。
3. 広報委員会関連報告
 - 1) 第 1 回議事録案 〔別紙 - 4〕p.26-27
 - * ITと広報が一体となった新体制がスタートしたとの報告があった。
 - * トップページからのリンク切れについては対処するが、HP全体のあり方については現在検討を行っており、九月に報告がある予定。
 - * 年度を越えても委員会構成等が更新されていないページが多いことについては、事務局および担当委員と調整の上、対処する。
 - 2) 発表会一般公開のプレスリリース 〔別紙 - 5〕p.28-31
 - * 全国大会のプレス発表についてはこれまで担当の各支部で行っていたが、今回の名古屋大会では所掌があいまいであり、体制を再確認する。
4. 平成 19 年度総務部会開催日程 〔別紙 - 6〕p.32
 - * 総務部会日程および正副会長会議が従来の1時間から2時間へ変更することが報告された。
5. 正・副会長の所掌する 19 年度の各部の所掌
 - ・龍岡会長：国際部
 - ・安田副会長：総務部、企画部
 - ・善副会長：調査・研究部、基準部1、事業部2、会誌部
 - ・末岡副会長：会員・支部部、事業部1、基準部2

* 会誌部に関しては、善副会長の所掌であるため、関連する議事録を修正しておく。

6. 会長特別委員会の件 〔別紙 - 7〕p.33-34

* 振興基金から費用を捻出するため、総務部所掌との報告があった。

* 提言という言葉を使うと売り物のイメージが薄れること、売れる本にするためには購買層のターゲットを明確にする必要があること、提言するターゲットを明確にする必要があること等の意見があった。

7. 大阪府の委嘱状の件 〔別紙 - 8〕p.35

* 委嘱状の回答書案に災害補償の負担が記載されていたことが報告された。現在、関西支部の幹事長が大阪府へ確認中であり、その後の経過を関西支部事務局に確認する。

8. その他 〔別紙 - 9〕p.36-44

1) マキューソン氏(ASCE 土木学会会長)の名誉会員授与:平成 19 年 6 月 15 日、於 土木学会役員室

* 土木学会にて授与したとの報告があった。

2) 第 4 回日本学術振興会賞受賞候補者の推薦(通知)

* 推薦者は非公開であるが、推薦済みとの報告があった。

3) 大学評価・学位授与機構からの「国立大学教育研究評価委員会専門委員候補者」の推薦(依頼)

および 19 年度実施分の選考結果(報告)

* 5 名推薦済みとの報告があった。19 年度分の推薦者は最終的に選考から外れており、難易度は高いが、今後も積極的にアピールすることが必要との説明があった。

* 従来は企画部長の担当であったが、現在の企画部長は、正副会長会議のメンバーではないため、今後は正副会長会議から推薦する方針とする。

4) 平成 20 年度文部科学大臣表彰「科学技術賞」及び「若手科学者賞」受賞候補者の推薦(依頼)

* 過去の学会賞受賞者から選考する方針との報告があった。

5) 平成 19 年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)学術定期刊行物の交付決定(通知)

* 今後は事後審査に対して内訳を明確にする必要があること、論文編集委員会だけでは対処できないので総務も対応する必要があることが報告された。

6) 岩の力学連合会総会:平成 19 年 6 月 22 日、於 地盤工学会

* 今後の所掌は調査研究部に移すことを打診するとの報告があった。

7) 会館エントランスの改善

* エントランスが暗くてぶつかる。レイアウトの案内板がない等の意見があるため、現在、末岡副会長と事務局で対応策を検討中との報告があった。

【審議事項】

1. 平成 19 年度総務部所管委員会の構成 〔別紙 - 10〕p.45-47

1) 総務部会

2) 広報委員会

3) 選挙管理委員会(幹事)

* 承認された

2. 災害連絡会議幹事会構成および幹事会開催 〔別紙 - 11〕p.48-60

・地方委員、地方連絡委員の構成は地方委員および各支部を通じて依頼(6/22 まで)

* 幹事会構成案が承認された。7 月に第一回目を開催予定。

3. 地盤工学研究発表会時の能登半島地震報告会における配付資料について

* 発表会で販売予定のカラー刷りの報告書(1部3000円)以外に、報告会で発表者のパワーポイント原稿を100部白黒で配布することが承認された。予算は3~4万円程度。後日、HPへの掲載は著作権上の問題が生じる可能性があるため、行わない。

4. 表彰委員会構成案 (別紙 - 12)p.61-64

* 委員会構成の方針について承認された。

5. 販売促進・企画WGの今後の活動について (別紙 - 13)p.65-75

* メンバーが多いので半分程度にすることと事業部主体で行うことを打診する。総務部からは坪田理事と事業部から選出される広報委員会の委員が対応する。

6. 平成20年度予算案作成スケジュール(案) (別紙 - 14)p.76-78

* 管理費を中長期ビジョンの分野毎に分けて事業費に加える等の作業が生じるため、7月の総務部会で重点的に検討する。19年度予算作成の際には正副会長会議と絡めながら検討していたことも踏まえてスケジュールを検討する。

7. 地盤工学会財政状況の公認会計士からのレクチャー

・講師 公認会計士 岩崎英司先生 7月27日(金)14時~15時(次回理事会開催内)

* 一般論ではなく本学会に特化したレクチャーをしていただく予定。理事会開催時間を14~18時に変更する。

8. 地盤工学会の監査方針および監査報酬 (別紙 - 15)p.79-80

* 参考のため他学会等の事例を収集する。人工単価についても確認しておく。

9. 地盤工学会運営規程の見直し (別紙 - 16)p.81-82

* 運営連絡会議の座長を会長にするため、第6条2項、3項を修正する。4項は削除する。

* 第7条 総合企画会議の取扱いを企画部に確認する。

10. プレミアム会員制度運営要領の作成および募集実施について (別紙 - 17)p.83-87

* 細則の検討等、今後の運営は会員支部部に移行する。

11. 研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドラインに基づく

体制整備等(文部科学省よりの通知)

(別紙 - 18)p.88-91

* S&Fの科研費等、資金受け入れの体制をつくる必要がある。第3者窓口の案を総務部長が検討する。

12. 職員研修について

* 案を作成し、次回総務部会で審議する。担当本田部員。

13. その他

1) 共催、後援、協賛等の依頼 (別紙 - 19)p.92-93

『物理探査セミナー』後援 メール審議済 主催:物理探査学会 H19.6.21-22

『場所打ちコンクリート杭の施工と管理』協賛 メール審議済 主催:日本基礎建設協会 H19.7.13-14、7.20-21

『性能規定型耐震設計法の現状と課題』協賛 メール審議済 主催:日本地震工学会 H19.9.12-14

『第10回地震防災技術懇話会』後援 メール審議済 主催:土木学会 H19.9.28

『平成19年度石灰安定処理セミナー(北日本)』後援 メール審議済 主催:日本石灰協会 H19.7.25

『第45回粉体に関する討論会』協賛 主催:第45回粉体に関する討論会事務局 H19.10.29-31

* 承認された。

2) 議事録の確認

5/8 総務部会 (別紙 - 20)p.94-95

5/11、24 理事会 (別紙 - 21)p.96-102

3) 次回の総務部会、理事会等の開催期日の確認

総務部会 7/10(火) 16:00~18:00

理事会 7/27(金) 14:00～17:00

正副会長会議 7/27(金) 12:00～14:00

4) 総務部からの7/27理事会提出議題の確認

審議事項

報告事項 後援・協賛等

* 未定。次回総務部会で決定。

5) 国際会議 第5回 環境汚染におけるコロイド海面現象と海面科学の取り組み の ML 案内配布依頼

(別紙 - 23)

* 共催、後援、協賛の行事に対してのみ行うことが基本方針であることを伝えて今回は見送る。

6) 総務部のメール審議の運用方針について

* 発信は事務局。返信のとりまとめは総務部長と戸塚代行。混乱するため全員には返信しない。